

# 様式③-1

事業地区・箇所別概要（1）

令和4年度 当初予算 公共事業評価システム 個別サマリーシート（継続事業）

## 1 事業の基本データ

①計画事業名	事業名 道路改築事業	地区・箇所・路線名 一般国道365号（小牧拡幅）
②事業担当課	担当課 道路建設課	担当班 道路建設班
		電話番号 059-224-2630
③事業施工場所	地域（市部・郡部/一般・準過疎・過疎） 四日市 市部 一般	市町字名 四日市市 小牧町
④事務事業名	道路改築事業	
⑤基本事業名	道路ネットワークの形成	
⑥公共事業評価システムにおける分野名	交通利便性の向上	

## 2 事業の概要

事業の目的 四日市市に隣接する東員町地内に大型ショッピングセンターが開業したことに伴い、交通量が増加し渋滞の発生が顕著になってきている。また、東海環状自動車道が大安ICまで開通し、さらに北勢ICまでの延伸事業が進められている。このように、今後さらなる交通量の増加が見込まれるため、現在の暫定2車線から4車線化拡幅の整備を行い、円滑な交通を確保したい。		
事業の概要		事業採択 2021年度
延長	L=800m	事業着工 2021年度
幅員	W=14.0(25.0)m	事業完了 2025年度
道路工	L=800m	供用開始 2026年度
		全体計画事業費(億円) 6.450
		全体計画工期(年数) 5年

## 3 事業計画の進捗状況

実施済み事業の概要	事業進捗率の算定式 [進捗率=実施済み総事業費/計画事業費×100]
	2020年度までの事業進捗率 0.0%
	2021年度完了までの事業進捗率 13.1%
	実施済み総事業費(億円) 0.846

## 4 公共事業の再評価実施の必要性

下記2基準に基づく今年度の再評価の必要性 (該当する項目の前に○印)	必要である ○	必要でない
<b>1. 三重県公共事業再評価実施要綱による対象事業判定（該当する項目にチェックする）</b>		
<input type="checkbox"/>	①事業採択後5年間を経過した時点で未着工の事業	
<input type="checkbox"/>	②事業採択後一定期間（5～10年）を経過した時点で継続中の事業	
<input type="checkbox"/>	③再評価実施後一定期間が経過している事業	
<input type="checkbox"/>	④社会経済状況の急激な変化等により再評価を実施する必要性が生じた事業	
<b>2. 公共事業の見直し基準による対象事業判定（該当する項目にチェックする）</b>		
<input type="checkbox"/>	①社会経済情勢の変化により、住民ニーズ、事業の主目的が喪失したものと及び事業効果が著しく低下した事業 <input type="checkbox"/> 事業の主な目的を喪失した事業 <input type="checkbox"/> 需要量の大幅な減少や停滞、費用の大幅な増加等により、計画の必要性や効果について合理的な説明が困難となった事業	
<input type="checkbox"/>	②代替案検討の結果、代替案のほうが有利な事業 ・目的達成のため他の代替的手段の方が効率的・効果的な事業	
<input type="checkbox"/>	③事業採択から5年以上経過して、下記の理由等から事業進捗を図れない事業 <input type="checkbox"/> 用地買収に対する反対等により、事業進捗が3年以上停滞しており、今後解決が見込めない事業 <input type="checkbox"/> 主体となる関連他事業の事業計画の進捗が見込まれないため、当該事業の進捗が3年以上停滞している事業 (ただし、今後2年以内に関連他事業が伸展する場合はこの限りでないものとする)	

## 5 公共事業評価審査委員会の結果

再評価審査の結果 (該当する項目の前に○印)	継続
	中止
再評価審査の結果概要	

## 6 評価結果

評価実施年度	令和3年度	前回評価	
評価結果 (優先度判定の結果)	I	特記事項	

※優先度区分について

優先度Ⅰ	: 事業進捗を図り、早期事業効果の発現に努める継続事業
優先度Ⅱ	: 地域補正後の経済効率性が分野別の基準以上で、熟度が高い新規事業
優先度Ⅲ	: 地域補正後の経済効率性が分野別の基準未満で、熟度が高く、緊急性や戦略性が高い新規事業
優先度Ⅳ	: 優先度Ⅱ・Ⅲ以外の新規事業
優先度Ⅴ	: 中止する事業

# 様式③-1

事業地区・箇所別概要（1）

令和4年度 当初予算 公共事業評価システム 個別サマリーシート（継続事業）

## 1 事業の基本データ

①計画事業名	事業名 道路改築事業	地区・箇所・路線名 一般国道477号（尾平工区）
②事業担当課	担当課 道路建設課	担当班 道路建設班
		電話番号 059-224-2630
③事業施工場所	地域（市部・郡部/一般・準過疎・過疎） 四日市 市部 一般	市町字名 四日市市 尾平町
④事務事業名	道路改築事業	
⑤基本事業名	道路ネットワークの形成	
⑥公共事業評価システムにおける分野名	交通利便性の向上	

## 2 事業の概要

事業の目的			
一般国道477号（尾平工区）は、一般国道477号（現道）の渋滞解消、四日市市街地及び国際拠点港湾である四日市港へのアクセス向上による地域の活性化を目的に、平成14年（2002）に暫定2車線で供用された延長約3kmのバイパスのうち、平成21年（2009）から平成30年（2018）にかけて四日市拡幅にて4車線化した2.6kmの残り0.4kmと、四日市鈴鹿環状線との交差点改良事業である。また、当該バイパスまでの供用開始が計画されている北勢バイパス、平成30年末に供用した新名神高速道路・菰野IC接続による増加交通量分担を担う事業でもある。また、菰野ICと連結する目的で、平成30年末に供用した四日市湯の山道路、現在事業中の、観光地である湯の山温泉郷へのアクセス道を担う菰野バイパスとの一体的整備により国道477号（現道）の渋滞解消および地域の基幹ネットワークを整備するものである。			
事業の概要		事業採択	2019年度
延長	600m	事業着工	2019年度
幅員	13.0(25.0)m	事業完了	2022年度
道路工	600m	供用開始	2023年度
交差点改良工	1式	全体計画事業費(億円)	6.500
用地買収	1式	全体計画工期(年数)	4年
	物件補償	1式	

## 3 事業計画の進捗状況

実施済み事業の概要		事業進捗率の算定式 [進捗率=実施済み総事業費/計画事業費×100]
用地買収	1式	2020年度までの事業進捗率 66.4%
物件補償	1式	2021年度完了までの事業進捗率 97.7%
		実施済み総事業費(億円) 6.350

## 4 公共事業の再評価実施の必要性

下記2基準に基づく今年度の再評価の必要性 (該当する項目の前に○印)	<input checked="" type="radio"/> 必要である
	<input type="radio"/> 必要でない
1. 三重県公共事業再評価実施要綱による対象事業判定（該当する項目にチェックする）	
<input type="checkbox"/> ①事業採択後5年間を経過した時点で未着工の事業	
<input type="checkbox"/> ②事業採択後一定期間（5～10年）を経過した時点で継続中の事業	
<input type="checkbox"/> ③再評価実施後一定期間が経過している事業	
<input type="checkbox"/> ④社会経済状況の急激な変化等により再評価を実施する必要性が生じた事業	
2. 公共事業の見直し基準による対象事業判定（該当する項目にチェックする）	
<input type="checkbox"/> ①社会経済情勢の変化により、住民ニーズ、事業の主目的が喪失したもの及び事業効果が著しく低下した事業 □事業の主な目的を喪失した事業 □需要量の大幅な減少や停滞、費用の大幅な増加等により、計画の必要性や効果について合理的な説明が困難となった事業	
<input type="checkbox"/> ②代替案検討の結果、代替案のほうが有利な事業 ・目的達成のため他の代替的手段の方が効率的・効果的な事業	
<input type="checkbox"/> ③事業採択から5年以上経過して、下記の理由等から事業進捗を図れない事業 □用地買収に対する反対等により、事業進捗が3年以上停滞しており、今後解決が見込めない事業 □主体となる関連他事業の事業計画の進捗が見込まれないため、当該事業の進捗が3年以上停滞している事業 (ただし、今後2年以内に関連他事業が伸展する場合はこの限りでないものとする)	

## 5 公共事業評価審査委員会の結果

再評価審査の結果 (該当する項目の前に○印)	<input checked="" type="radio"/> 継続
	<input type="radio"/> 中止
再評価審査の結果概要	

## 6 評価結果

評価実施年度	令和3年度	前回評価 特記事項
評価結果 (優先度判定の結果)	I	

### ※優先度区分について

優先度 I	: 事業進捗を図り、早期事業効果の発現に努める継続事業
優先度 II	: 地域補正後の経済効率性が分野別の基準以上で、熟度が高い新規事業
優先度 III	: 地域補正後の経済効率性が分野別の基準未満で、熟度が高く、緊急性や戦略性が高い新規事業
優先度 IV	: 優先度 II・III 以外の新規事業
優先度 V	: 中止する事業

# 様式③-1

事業地区・箇所別概要（1）

令和4年度 当初予算 公共事業評価システム 個別サマリーシート（継続事業）

## 1 事業の基本データ

①計画事業名	事業名 道路改築事業	地区・箇所・路線名 国道477号 菰野バイパス	
②事業担当課	担当課	担当班	電話番号
	道路建設課	道路建設班	059-224-2630
③事業施工場所	地域（市部・郡部/一般・準過疎・過疎）		市町字名
	四日市	郡部 一般	菰野町 音羽～千草
④事務事業名	道路改築事業		
⑤基本事業名	道路ネットワークの形成		
⑥公共事業評価システムにおける分野名	交通利便性の向上		

## 2 事業の概要

事業の目的 一般国道477号現道の交通量の分散を図り円滑で安全な交通を確保するとともに、観光地及び物流拠点のアクセス強化を図ります。			
事業の概要		事業採択	2008年度
延長	2,000m	事業着工	2008年度
幅員	6.5(11.25)m	事業完了	2022年度
橋梁工	1橋	供用開始	2023年度
舗装工	37,000㎡	全体計画事業費(億円)	38.000
用地補償	1式	全体計画工期(年数)	15年

## 3 事業計画の進捗状況

実施済み事業の概要		事業進捗率の算定式 [進捗率=実施済み総事業費/計画事業費×100]	
測量設計	1式	2020年度までの事業進捗率	16.4%
用地買収	28,760㎡	2021年度完了までの事業進捗率	18.2%
建物補償	4軒	実施済み総事業費(億円)	6.930
工作物補償	1式		

## 4 公共事業の再評価実施の必要性

下記2基準に基づく今年度の再評価の必要性 (該当する項目の前に○印)	<input checked="" type="radio"/>	必要である
	<input type="radio"/>	必要でない
<b>1. 三重県公共事業再評価実施要綱による対象事業判定（該当する項目にチェックする）</b>		
<input type="checkbox"/>	①事業採択後5年間を経過した時点で未着工の事業	
<input type="checkbox"/>	②事業採択後一定期間（5～10年）を経過した時点で継続中の事業	
<input checked="" type="checkbox"/>	③再評価実施後一定期間が経過している事業	
<input type="checkbox"/>	④社会経済状況の急激な変化等により再評価を実施する必要性が生じた事業	
<b>2. 公共事業の見直し基準による対象事業判定（該当する項目にチェックする）</b>		
<input type="checkbox"/>	①社会経済情勢の変化により、住民ニーズ、事業の主目的が喪失したものと及び事業効果が著しく低下した事業 <input type="checkbox"/> 事業の主な目的を喪失した事業 <input type="checkbox"/> 需要量の大幅な減少や停滞、費用の大幅な増加等により、計画の必要性や効果について合理的な説明が困難となった事業	
<input type="checkbox"/>	②代替案検討の結果、代替案のほうが有利な事業 ・目的達成のため他の代替的手段の方が効率的・効果的な事業	
<input type="checkbox"/>	③事業採択から5年以上経過して、下記の理由等から事業進捗を図れない事業 <input type="checkbox"/> 用地買収に対する反対等により、事業進捗が3年以上停滞しており、今後解決が見込めない事業 <input type="checkbox"/> 主体となる関連他事業の事業計画の進捗が見込まれないため、当該事業の進捗が3年以上停滞している事業 (ただし、今後2年以内に関連他事業が伸展する場合はこの限りでないものとする)	

## 5 公共事業評価審査委員会の結果

再評価審査の結果 (該当する項目の前に○印)	<input checked="" type="radio"/>	継続
	<input type="radio"/>	中止
再評価審査の結果概要 公共事業評価審査委員会審査の結果、継続の答申を得た。		

## 6 評価結果

評価実施年度	令和3年度	前回評価 特記事項
評価結果 (優先度判定の結果)	I	

### ※優先度区分について

優先度Ⅰ	: 事業進捗を図り、早期事業効果の発現に努める継続事業
優先度Ⅱ	: 地域補正後の経済効率性が分野別の基準以上で、熟度が高い新規事業
優先度Ⅲ	: 地域補正後の経済効率性が分野別の基準未満で、熟度が高く、緊急性や戦略性が高い新規事業
優先度Ⅳ	: 優先度Ⅱ・Ⅲ以外の新規事業
優先度Ⅴ	: 中止する事業

# 様式③-1

事業地区・箇所別概要（1）

令和4年度 当初予算 公共事業評価システム 個別サマリーシート（継続事業）

## 1 事業の基本データ

①計画事業名	事業名	地区・箇所・路線名
	道路改築事業	主要地方道四日市鈴鹿環状線（采女北工区）
②事業担当課	担当課	担当班
	道路建設課	道路建設班
		電話番号
		059-224-2630
③事業施工場所	地域（市部・郡部/一般・準過疎・過疎）	市町字名
	四日市 市部 一般	四日市市 波木町～采女町
④事務事業名	道路改築事業	
⑤基本事業名	道路ネットワークの形成	
⑥公共事業評価システムにおける分野名	交通利便性の向上	

## 2 事業の概要

事業の目的		
当該路線は、四日市市市街地と鈴鹿市を結ぶ重要な路線であり、地域連携を促すネットワークとして重要な役割を担っている。しかし、当該路線の現道部は、幅員狭小で歩道も有していないため、バイパス整備及び歩道整備を行うことにより円滑な通行の確保を図るものである。		
事業の概要		
延長	870m	事業採択
幅員	6.5(11.25)m	事業着工
道路工	730.5m	事業完了
橋梁工	139.5m	供用開始
		全体計画事業費(億円)
		30.000
		全体計画工期(年数)
		16年

## 3 事業計画の進捗状況

実施済み事業の概要		事業進捗率の算定式
用地買収	1式	[進捗率=実施済み総事業費/計画事業費×100]
		2020年度までの事業進捗率
		73.4%
		2021年度完了までの事業進捗率
		94.3%
		実施済み総事業費(億円)
		28.296

## 4 公共事業の再評価実施の必要性

下記2基準に基づく今年度の再評価の必要性 (該当する項目の前に○印)		必要である
	○	必要でない
1. 三重県公共事業再評価実施要綱による対象事業判定（該当する項目にチェックする）		
<input type="checkbox"/>	①事業採択後5年間を経過した時点で未着工の事業	
<input type="checkbox"/>	②事業採択後一定期間（5～10年）を経過した時点で継続中の事業	
<input type="checkbox"/>	③再評価実施後一定期間が経過している事業	
<input type="checkbox"/>	④社会経済状況の急激な変化等により再評価を実施する必要性が生じた事業	
2. 公共事業の見直し基準による対象事業判定（該当する項目にチェックする）		
<input type="checkbox"/>	①社会経済情勢の変化により、住民ニーズ、事業の主目的が喪失したものと及び事業効果が著しく低下した事業 <input type="checkbox"/> 事業の主な目的を喪失した事業 <input type="checkbox"/> 需要量の大幅な減少や停滞、費用の大幅な増加等により、計画の必要性や効果について合理的な説明が困難となった事業	
<input type="checkbox"/>	②代替案検討の結果、代替案のほうが有利な事業 ・目的達成のため他の代替的手段の方が効率的・効果的な事業	
<input type="checkbox"/>	③事業採択から5年以上経過して、下記の理由等から事業進捗を図れない事業 <input type="checkbox"/> 用地買収に対する反対等により、事業進捗が3年以上停滞しており、今後解決が見込めない事業 <input type="checkbox"/> 主体となる関連他事業の事業計画の進捗が見込まれないため、当該事業の進捗が3年以上停滞している事業 (ただし、今後2年以内に関連他事業が伸展する場合はこの限りでないものとする)	

## 5 公共事業評価審査委員会の結果

再評価審査の結果 (該当する項目の前に○印)		継続
		中止
再評価審査の結果概要		

## 6 評価結果

評価実施年度	令和3年度	前回評価	
評価結果 (優先度判定の結果)	I	特記事項	

※優先度区分について

優先度Ⅰ	: 事業進捗を図り、早期事業効果の発現に努める継続事業
優先度Ⅱ	: 地域補正後の経済効率性が分野別の基準以上で、熟度が高い新規事業
優先度Ⅲ	: 地域補正後の経済効率性が分野別の基準未満で、熟度が高く、緊急性や戦略性が高い新規事業
優先度Ⅳ	: 優先度Ⅱ・Ⅲ以外の新規事業
優先度Ⅴ	: 中止する事業

# 様式①-1

事業地区・箇所別概要(1)

## 令和4年度 当初予算 公共事業評価システム 個別サマリーシート(新規事業)

### 1 事業の基本データ

①計画事業名	事業名	地区・箇所・路線名	
	道路改築事業	主要地方道 四日市鈴鹿環状線(采女南工区)	
②事業担当課	担当課	担当班	電話番号
	道路建設課	道路建設班	059-224-2630
③事業施工場所	地域(市部・郡部/一般・過疎・準過疎)		市町字名
	四日市	市部 一般	四日市市 采女町
④事務事業名	道路改築事業		
⑤基本事業名	道路ネットワークの形成		
⑥公共事業評価システムにおける分野名	交通利便性の向上		

### 2 事業計画の概要

事業の目的			
当該路線は、四日市市中心部と鈴鹿市を結ぶ重要な路線であり、地域連携を促すネットワークとして重要な役割を担っている。しかし、当該路線の現道部は幅員狭小で歩道も有していないため、バイパス整備及び歩道整備を行うことにより円滑な通行の確保を図るものである。			
事業計画の概要			
延長	1,700m	事業着工	2022年度
幅員	6.5(11.25)m	事業完了	2032年度
道路工	1,700m	供用開始	2033年度
橋梁工	2橋	B/C評価期間	50年
函渠工	1箇所	全体計画事業費(億円)	17.850
		全体計画工期(年数)	11年

### 3 経済効率性評価(費用便益分析)

計算テーブル	便益分類	便益(億円)	
テーブル1	自然防御機能維持	自然防御機能維持便益	水源の涵養便益 土砂流出等の災害防止便益
テーブル2	土砂流出等の災害防止 洪水等の災害防止 高潮・波浪・浸食等の災害防止	災害防御機能拡充便益	人的被害軽減便益 資産被害軽減便益 営業停止損失軽減便益 応急対策経費節減便益
	洪水等の災害防止 高潮・波浪・浸食等の災害防止	災害防御機能拡充便益	資産被害軽減便益 営業停止損失軽減便益
テーブル3	アクセス環境の向上	アクセス機能向上便益	アクセス時間短縮便益 アクセス経費節減便益
		交通事故減少便益	人的被害軽減便益 資産被害軽減便益 応急対策経費節減便益 事故渋滞便益
		環境改善便益	大気質汚染抑制便益 騒音被害軽減便益
		待避・避難機能向上便益	待避・避難時間削減便益 待避・避難経費削減便益
		快適性向上便益	歩行者便益
		交通遮断防止便益	アクセス時間増加抑制便益 アクセス経費増加抑制便益
テーブル4	生活環境の向上	水質汚染抑制便益	水質汚染抑制便益
		家畜排泄物処理便益	家畜排泄物処理便益
		大気質浄化・騒音遮断等便益	大気質浄化便益 騒音遮断・飛砂等軽減便益
テーブル5	レク機能等の提供	余暇空間創出便益	余暇空間創出便益
テーブル6	生産性の向上	生産効率向上便益	労働時間短縮便益 生産経費節減便益
		生産基盤拡充便益	単位生産量増便益 生産規模・機会増便益 耕作維持・利水便益
テーブル7	その他	土地創出便益	土地創出便益
		更新便益	更新便益
		廃用損失	廃用損失
粗便益①(現在価値合計) : B' (億円)			353.09
テーブル8	環境評価	自然環境	WTP×受益世帯数
		景観	WTP×受益世帯数
		文化	WTP×受益世帯数
		快適性	WTP×受益世帯数
		安全・安心	WTP×受益世帯数
粗便益②(現在価値合計) : E (億円)			0.00
粗便益③(現在価値合計) : <B' + E> (億円)			353.09
地域	四日市	に対応した地域係数	1
便益(現在価値合計) : B (億円) ((B' + E) × 地域係数)			353.09
費用(現在価値合計) : C (億円) (費用計算テーブルより)			14.37
費用便益比 : B/C			24.57

※費用便益分析に関する特記事項

このシートの費用便益値は、三重県方式により算出したものであり、国の定めた算出手法とは異なります。



# 様式①-2

事業地区・箇所別概要(2)

## 令和4年度 当初予算 公共事業評価システム 個別サマリーシート(新規事業)

### 1 事業の基本データ

①計画事業名	事業名	地区・箇所・路線名	
	道路改築事業	主要地方道 四日市鈴鹿環状線(采女南工区)	
②事業担当課	担当課	担当班	電話番号
	道路建設課	道路建設班	059-224-2630
③事業施工場所	地域(市部・郡部/一般・過疎・準過疎)		市町字名
	四日市	市部 一般	四日市市 采女町

### 2 政策的重要度評価(個別評価)

#### (a) 戦略性

【全分野共通要件】

1	
2	みえ県民カビジョンを補完する個別計画に位置づけられている事業
3	他事業と一体的に整備する必要のある事業

(具体的な内容の記述<上記の補足事項>)

②道路事業計画での位置付けあり
③四日市鈴鹿環状線(采女北工区)道路改築事業を連携して一体整備する必要あり

#### (b) 緊急性

【当該事業分野の事項】

I	緊急輸送道路、耐震岸壁の整備
II	
III	通学路における歩道の設置又は幅広歩道の整備
IV	
V	
VI	道路事業計画の事業実施箇所に位置づけられている箇所の整備
VII	

(具体的な内容の記述<上記の補足事項>)

①整備後は第3次緊急輸送道路として位置付けされる予定
③整備後は内部小学校への通学路として利用される可能性あり(調整未)
⑥道路事業計画への位置付けあり

#### (c) 熟度

【全分野共通要件】

1	
2	
3	協力体制があり、整備に対して熱心な要望がある事業

(具体的な内容の記述<上記の補足事項>)

③地元自治会及び四日市市関係部局と緊密な連携・調整を行い、円滑な事業進捗を進めていく体制をつくっている
-----------------------------------------------------

### 【評価結果(優先度判定の結果)】

II

※優先度区分について

優先度I	: 事業進捗を図り、早期事業効果の発現に努める継続事業
優先度II	: 地域補正後の経済効率性が分野別の基準以上で、熟度が高い新規事業
優先度III	: 地域補正後の経済効率性が分野別の基準未満で、熟度が高く、緊急性や戦略性が高い新規事業
優先度IV	: 優先度II・III以外の新規事業
優先度V	: 中止する事業

# 様式③-1

事業地区・箇所別概要（1）

令和4年度 当初予算 公共事業評価システム 個別サマリーシート（継続事業）

## 1 事業の基本データ

①計画事業名	事業名 道路改築事業	地区・箇所・路線名 主要地方道上海老茂福線（山城）
②事業担当課	担当課 道路建設課	担当班 道路建設班
		電話番号 059-224-2630
③事業施工場所	地域（市部・郡部/一般・準過疎・過疎） 四日市	市町字名 市部 一般 四日市市 上海老町～山城町
④事務事業名	道路改築事業	
⑤基本事業名	道路ネットワークの形成	
⑥公共事業評価システムにおける分野名	交通利便性の向上	

## 2 事業の概要

事業の目的		
当該路線は、四日市北部地域の工業団地と東名阪自動車道四日市東1Cを結び、第3次緊急輸送道路にも指定されている重要な路線である。このため、事業区間には大型車混入が多いが、車道幅及び路肩が狭く線形が悪いため、通行車両及び歩行者の安全・安心な通行に支障をきたしている。このことから、通行車両及び歩行者の安全・安心の向上を図るため、道路改築を実施するものである。		
事業の概要		事業採択
延長	1,310m	2019年度
幅員	6.5(10.5)m	事業着工
道路工	1,310m	2019年度
		事業完了
		2029年度
		供用開始
		2030年度
		全体計画事業費(億円)
		8.450
		全体計画工期(年数)
		11年

## 3 事業計画の進捗状況

実施済み事業の概要		事業進捗率の算定式 [進捗率=実施済み総事業費/計画事業費×100]
予備設計	1式	2020年度までの事業進捗率
		1.4%
		2021年度完了までの事業進捗率
		8.6%
		実施済み総事業費(億円)
		0.729

## 4 公共事業の再評価実施の必要性

下記2基準に基づく今年度の再評価の必要性 (該当する項目の前に○印)	<input checked="" type="radio"/>	必要である
	<input type="radio"/>	必要でない
<b>1. 三重県公共事業再評価実施要綱による対象事業判定（該当する項目にチェックする）</b>		
<input type="checkbox"/>	①事業採択後5年間を経過した時点で未着工の事業	
<input type="checkbox"/>	②事業採択後一定期間（5～10年）を経過した時点で継続中の事業	
<input type="checkbox"/>	③再評価実施後一定期間が経過している事業	
<input type="checkbox"/>	④社会経済状況の急激な変化等により再評価を実施する必要性が生じた事業	
<b>2. 公共事業の見直し基準による対象事業判定（該当する項目にチェックする）</b>		
<input type="checkbox"/>	①社会経済情勢の変化により、住民ニーズ、事業の主目的が喪失したもの及び事業効果が著しく低下した事業 <input type="checkbox"/> 事業の主な目的を喪失した事業 <input type="checkbox"/> 需要量の大幅な減少や停滞、費用の大幅な増加等により、計画の必要性や効果について合理的な説明が困難となった事業	
<input type="checkbox"/>	②代替案検討の結果、代替案のほうが有利な事業 ・目的達成のため他の代替的手段の方が効率的・効果的な事業	
<input type="checkbox"/>	③事業採択から5年以上経過して、下記の理由等から事業進捗を図れない事業 <input type="checkbox"/> 用地買収に対する反対等により、事業進捗が3年以上停滞しており、今後解決が見込めない事業 <input type="checkbox"/> 主体となる関連他事業の事業計画の進捗が見込まれないため、当該事業の進捗が3年以上停滞している事業 (ただし、今後2年以内に関連他事業が伸展する場合はこの限りでないものとする)	

## 5 公共事業評価審査委員会の結果

再評価審査の結果 (該当する項目の前に○印)	<input checked="" type="radio"/>	継続
	<input type="radio"/>	中止
再評価審査の結果概要		

## 6 評価結果

評価実施年度	令和3年度	前回評価	
評価結果 (優先度判定の結果)	I	特記事項	

※優先度区分について

優先度 I	: 事業進捗を図り、早期事業効果の発現に努める継続事業
優先度 II	: 地域補正後の経済効率性が分野別の基準以上で、熟度が高い新規事業
優先度 III	: 地域補正後の経済効率性が分野別の基準未満で、熟度が高く、緊急性や戦略性が高い新規事業
優先度 IV	: 優先度 II・III 以外の新規事業
優先度 V	: 中止する事業

# 様式③-1

事業地区・箇所別概要（1）

令和4年度 当初予算 公共事業評価システム 個別サマリーシート（継続事業）

## 1 事業の基本データ

①計画事業名	事業名 道路改築事業	地区・箇所・路線名 一般県道桑名川越線
②事業担当課	担当課 道路建設課	担当班 道路建設班
		電話番号 059-224-2630
③事業施工場所	地域（市部・郡部/一般・準過疎・過疎） 四日市	市町字名 郡部 一般 朝日町 縄生
④事務事業名	道路改築事業	
⑤基本事業名	道路ネットワークの形成	
⑥公共事業評価システムにおける分野名	交通利便性の向上	

## 2 事業の概要

事業の目的		
国道23号から国道1号や桑名市南部やいなべ市南西部の大型工業団地等をつ結び、既成市街地を迂回することができる重要な物流道路である。また、当該路線と国道1号の交差点は、第四次渋滞プログラムの主要渋滞ポイントに指定されている路線である。このため、国道1号から国道23号へ連絡する区間のうち、幅員狭小箇所の道路改良を実施し、国道1号町屋橋南詰交差点付近の渋滞解消を図るものである。		
事業の概要		
延長	820m	事業採択
幅員	5.5(6.5)m	事業着工
道路工	786.4m	事業完了
橋梁工	1橋(L=33.6m)	供用開始
		全体計画事業費(億円)
		全体計画工期(年数)
		2006年度
		2006年度
		2025年度
		2026年度
		12.070
		20年

## 3 事業計画の進捗状況

実施済み事業の概要		事業進捗率の算定式 [進捗率=実施済み総事業費/計画事業費×100]
道路工	400m(暫定断面)	2020年度までの事業進捗率 14.6%
		2021年度完了までの事業進捗率 29.0%
		実施済み総事業費(億円) 3.499

## 4 公共事業の再評価実施の必要性

下記2基準に基づく今年度の再評価の必要性 (該当する項目の前に○印)	必要である ○	必要でない
<b>1. 三重県公共事業再評価実施要綱による対象事業判定（該当する項目にチェックする）</b>		
<input type="checkbox"/>	①事業採択後5年間を経過した時点で未着工の事業	
<input type="checkbox"/>	②事業採択後一定期間（5～10年）を経過した時点で継続中の事業	
<input type="checkbox"/>	③再評価実施後一定期間が経過している事業	
<input type="checkbox"/>	④社会経済状況の急激な変化等により再評価を実施する必要性が生じた事業	
<b>2. 公共事業の見直し基準による対象事業判定（該当する項目にチェックする）</b>		
<input type="checkbox"/>	①社会経済情勢の変化により、住民ニーズ、事業の主目的が喪失したものと及び事業効果が著しく低下した事業 <input type="checkbox"/> 事業の主な目的を喪失した事業 <input type="checkbox"/> 需要量の大幅な減少や停滞、費用の大幅な増加等により、計画の必要性や効果について合理的な説明が困難となった事業	
<input type="checkbox"/>	②代替案検討の結果、代替案のほうが有利な事業 ・目的達成のため他の代替的手段の方が効率的・効果的な事業	
<input type="checkbox"/>	③事業採択から5年以上経過して、下記の理由等から事業進捗を図れない事業 <input type="checkbox"/> 用地買収に対する反対等により、事業進捗が3年以上停滞しており、今後解決が見込めない事業 <input type="checkbox"/> 主体となる関連他事業の事業計画の進捗が見込まれないため、当該事業の進捗が3年以上停滞している事業 (ただし、今後2年以内に関連他事業が伸展する場合はこの限りでないものとする)	

## 5 公共事業評価審査委員会の結果

再評価審査の結果 (該当する項目の前に○印)	継続
	中止
再評価審査の結果概要	

## 6 評価結果

評価実施年度	令和3年度	前回評価	
評価結果 (優先度判定の結果)	I	特記事項	

※優先度区分について

優先度Ⅰ	: 事業進捗を図り、早期事業効果の発現に努める継続事業
優先度Ⅱ	: 地域補正後の経済効率性が分野別の基準以上で、熟度が高い新規事業
優先度Ⅲ	: 地域補正後の経済効率性が分野別の基準未満で、熟度が高く、緊急性や戦略性が高い新規事業
優先度Ⅳ	: 優先度Ⅱ・Ⅲ以外の新規事業
優先度Ⅴ	: 中止する事業



# 様式③-1

事業地区・箇所別概要(1)

令和4年度 当初予算 公共事業評価システム 個別サマリーシート(継続事業)

## 1 事業の基本データ

①計画事業名	事業名 河川改修事業	地区・箇所・路線名 二級河川 朝明川
②事業担当課	担当課 河川課	担当班 河川事業班
		電話番号 059-224-2679
③事業施工場所	地域(市部・郡部/一般・準過疎・過疎) 四日市	市町字名 市部 一般 四日市市 古川他
④事務事業名	河川改修事業	
⑤基本事業名	洪水防止対策の推進	
⑥公共事業評価システムにおける分野名	災害の防止	

## 2 事業の概要

事業の目的 流域における洪水被害から河川沿川に存在する人家・耕地・公共施設等を守ることを主たる目的とする。			
事業の概要			
延長	12,800m	護岸改修	30,227m <sup>2</sup>
築堤工	12,714m <sup>3</sup>	橋梁・堰	8基
掘削工	517,758m <sup>3</sup>		
特殊堤工	300m		
護岸嵩上工	15,880m		
事業採択		1974年度	
事業着工		1974年度	
事業完了		2033年度	
供用開始		2034年度	
全体計画事業費(億円)		134.160	
全体計画工期(年数)		60年	

## 3 事業計画の進捗状況

実施済み事業の概要		事業進捗率の算定式 [進捗率=実施済み総事業費/計画事業費×100]
掘削工	20,780m <sup>3</sup>	2020年度までの事業進捗率 3.4%
特殊堤工	300m	2021年度完了までの事業進捗率 4.1%
護岸嵩上工	620m	実施済み総事業費(億円) 5.507

## 4 公共事業の再評価実施の必要性

下記2基準に基づく今年度の再評価の必要性 (該当する項目の前に○印)	<input checked="" type="radio"/>	必要である
	<input type="radio"/>	必要でない
<b>1. 三重県公共事業再評価実施要綱による対象事業判定(該当する項目にチェックする)</b>		
<input type="checkbox"/>	①事業採択後5年間を経過した時点で未着工の事業	
<input type="checkbox"/>	②事業採択後一定期間(5~10年)を経過した時点で継続中の事業	
<input type="checkbox"/>	③再評価実施後一定期間が経過している事業	
<input type="checkbox"/>	④社会経済状況の急激な変化等により再評価を実施する必要性が生じた事業	
<b>2. 公共事業の見直し基準による対象事業判定(該当する項目にチェックする)</b>		
<input type="checkbox"/>	①社会経済情勢の変化により、住民ニーズ、事業の主目的が喪失したものと及び事業効果が著しく低下した事業 <input type="checkbox"/> 事業の主な目的を喪失した事業 <input type="checkbox"/> 需要量の大幅な減少や停滞、費用の大幅な増加等により、計画の必要性や効果について合理的な説明が困難となった事業	
<input type="checkbox"/>	②代替案検討の結果、代替案のほうが有利な事業 ・目的達成のため他の代替的手段の方が効率的・効果的な事業	
<input type="checkbox"/>	③事業採択から5年以上経過して、下記の理由等から事業進捗を図れない事業 <input type="checkbox"/> 用地買収に対する反対等により、事業進捗が3年以上停滞しており、今後解決が見込めない事業 <input type="checkbox"/> 主体となる関連他事業の事業計画の進捗が見込まれないため、当該事業の進捗が3年以上停滞している事業 (ただし、今後2年以内に関連他事業が伸展する場合はこの限りでないものとする)	

## 5 公共事業評価審査委員会の結果

再評価審査の結果 (該当する項目の前に○印)	<input checked="" type="radio"/>	継続
	<input type="radio"/>	中止
再評価審査の結果概要		

## 6 評価結果

評価実施年度	令和3年度	前回評価	
評価結果 (優先度判定の結果)	I	特記事項	

※優先度区分について

優先度 I	: 事業進捗を回り、早期事業効果の発現に努める継続事業
優先度 II	: 地域補正後の経済効率性が分野別の基準以上で、熟度が高い新規事業
優先度 III	: 地域補正後の経済効率性が分野別の基準未満で、熟度が高く、緊急性や戦略性が高い新規事業
優先度 IV	: 優先度 II・III 以外の新規事業
優先度 V	: 中止する事業

# 様式③-1

事業地区・箇所別概要（1）

令和4年度 当初予算 公共事業評価システム 個別サマリーシート（継続事業）

## 1 事業の基本データ

①計画事業名	事業名 河川改修事業	地区・箇所・路線名 二級河川三滝川
②事業担当課	担当課 河川課	担当班 河川事業班
		電話番号 059-224-2679
③事業施工場所	地域（市部・郡部/一般・準過疎・過疎） 四日市 市部 一般	市町字名 四日市市 浜町～智積町
④事務事業名	河川改修事業	
⑤基本事業名	洪水防止対策の推進	
⑥公共事業評価システムにおける分野名	災害の防止	

## 2 事業の概要

事業の目的 当河川は過去に多大な浸水被害を受けており、治水安全度を向上するため河川改修を実施する。			
事業の概要			
延長	14,400m	樋門・樋管	3基
築堤工	16,736m	堰	6堰
掘削工	829,733m <sup>3</sup>		
護岸工	17,566m		
橋梁	8橋		
事業採択			2006年度
事業着工			2006年度
事業完了			2035年度
供用開始			2036年度
全体計画事業費（億円）			160.400
全体計画工期（年数）			30年

## 3 事業計画の進捗状況

実施済み事業の概要		事業進捗率の算定式 [進捗率=実施済み総事業費/計画事業費×100]
掘削工	65,760m <sup>3</sup>	2020年度までの事業進捗率 43.1%
護岸工	2,694m	2021年度完了までの事業進捗率 44.3%
橋梁	2基	実施済み総事業費（億円） 71.052

## 4 公共事業の再評価実施の必要性

下記2基準に基づく今年度の再評価の必要性 （該当する項目の前に○印）	<input checked="" type="radio"/>	必要である
	<input type="radio"/>	必要でない
<b>1. 三重県公共事業再評価実施要綱による対象事業判定（該当する項目にチェックする）</b>		
<input type="checkbox"/>	①事業採択後5年間を経過した時点で未着工の事業	
<input type="checkbox"/>	②事業採択後一定期間（5～10年）を経過した時点で継続中の事業	
<input type="checkbox"/>	③再評価実施後一定期間が経過している事業	
<input type="checkbox"/>	④社会経済状況の急激な変化等により再評価を実施する必要性が生じた事業	
<b>2. 公共事業の見直し基準による対象事業判定（該当する項目にチェックする）</b>		
<input type="checkbox"/>	①社会経済情勢の変化により、住民ニーズ、事業の主目的が喪失したものと及び事業効果が著しく低下した事業 <input type="checkbox"/> 事業の主な目的を喪失した事業 <input type="checkbox"/> 需要量の大幅な減少や停滞、費用の大幅な増加等により、計画の必要性や効果について合理的な説明が困難となった事業	
<input type="checkbox"/>	②代替案検討の結果、代替案のほうが有利な事業 ・目的達成のため他の代替的手段の方が効率的・効果的な事業	
<input type="checkbox"/>	③事業採択から5年以上経過して、下記の理由等から事業進捗を図れない事業 <input type="checkbox"/> 用地買収に対する反対等により、事業進捗が3年以上停滞しており、今後解決が見込めない事業 <input type="checkbox"/> 主体となる関連他事業の事業計画の進捗が見込まれないため、当該事業の進捗が3年以上停滞している事業 （ただし、今後2年以内に関連他事業が伸展する場合はこの限りでないものとする）	

## 5 公共事業評価審査委員会の結果

再評価審査の結果 （該当する項目の前に○印）	<input checked="" type="radio"/>	継続
	<input type="radio"/>	中止
再評価審査の結果概要		

## 6 評価結果

評価実施年度	令和3年度	前回評価 特記事項
評価結果 （優先度判定の結果）	I	

※優先度区分について

優先度Ⅰ	: 事業進捗を図り、早期事業効果の発現に努める継続事業
優先度Ⅱ	: 地域補正後の経済効率性が分野別の基準以上で、熟度が高い新規事業
優先度Ⅲ	: 地域補正後の経済効率性が分野別の基準未満で、熟度が高く、緊急性や戦略性が高い新規事業
優先度Ⅳ	: 優先度Ⅱ・Ⅲ以外の新規事業
優先度Ⅴ	: 中止する事業

# 様式③-1

事業地区・箇所別概要（1）

令和4年度 当初予算 公共事業評価システム 個別サマリーシート（継続事業）

## 1 事業の基本データ

①計画事業名	事業名 砂防事業（通常）	地区・箇所・路線名 かや落し
②事業担当課	担当課 防災砂防課	担当班 砂防班
		電話番号 059-224-2697
③事業施工場所	地域（市部・郡部/一般・準過疎・過疎） 四日市	市町字名 郡部 一般 菰野町 菰野
④事務事業名	通常砂防費	
⑤基本事業名	土砂災害対策の推進	
⑥公共事業評価システムにおける分野名	災害の防止	

## 2 事業の概要

事業の目的	
当溪流は荒廃が著しく、多くの不安定土砂が堆積しているため、砂防設備の整備により下流域の生命・財産の保全を図る。	
事業の概要	
えん堤工 1基	事業採択 2014年度
溪流保全工 1式	事業着工 2015年度
管理用道路工 340m	事業完了 2023年度
	供用開始 2024年度
	全体計画事業費（億円） 11.240
	全体計画工期（年数） 10年

## 3 事業計画の進捗状況

実施済み事業の概要		事業進捗率の算定式 [進捗率=実施済み総事業費/計画事業費×100]
測量設計 1式		2020年度までの事業進捗率 79.7%
溪流保全工 1式		2021年度完了までの事業進捗率 88.1%
		実施済み総事業費（億円） 9.901

## 4 公共事業の再評価実施の必要性

下記2基準に基づく今年度の再評価の必要性 （該当する項目の前に○印）	<input checked="" type="radio"/>	必要である
	<input type="radio"/>	必要でない
<b>1. 三重県公共事業再評価実施要綱による対象事業判定（該当する項目にチェックする）</b>		
<input type="checkbox"/>	①事業採択後5年間を経過した時点で未着工の事業	
<input type="checkbox"/>	②事業採択後一定期間（5～10年）を経過した時点で継続中の事業	
<input type="checkbox"/>	③再評価実施後一定期間が経過している事業	
<input type="checkbox"/>	④社会経済状況の急激な変化等により再評価を実施する必要性が生じた事業	
<b>2. 公共事業の見直し基準による対象事業判定（該当する項目にチェックする）</b>		
<input type="checkbox"/>	①社会経済情勢の変化により、住民ニーズ、事業の主目的が喪失したものと及び事業効果が著しく低下した事業 <input type="checkbox"/> 事業の主な目的を喪失した事業 <input type="checkbox"/> 需要量の大幅な減少や停滞、費用の大幅な増加等により、計画の必要性や効果について合理的な説明が困難となった事業	
<input type="checkbox"/>	②代替案検討の結果、代替案のほうが有利な事業 ・目的達成のため他の代替的手段の方が効率的・効果的な事業	
<input type="checkbox"/>	③事業採択から5年以上経過して、下記の理由等から事業進捗を図れない事業 <input type="checkbox"/> 用地買収に対する反対等により、事業進捗が3年以上停滞しており、今後解決が見込めない事業 <input type="checkbox"/> 主体となる関連他事業の事業計画の進捗が見込まれないため、当該事業の進捗が3年以上停滞している事業 （ただし、今後2年以内に関連他事業が伸展する場合はこの限りでないものとする）	

## 5 公共事業評価審査委員会の結果

再評価審査の結果 （該当する項目の前に○印）	<input checked="" type="radio"/>	継続
	<input type="radio"/>	中止
再評価審査の結果概要		

## 6 評価結果

評価実施年度	令和3年度	前回評価	
評価結果 （優先度判定の結果）	I	特記事項	

※優先度区分について

優先度Ⅰ	: 事業進捗を図り、早期事業効果の発現に努める継続事業
優先度Ⅱ	: 地域補正後の経済効率性が分野別の基準以上で、熟度が高い新規事業
優先度Ⅲ	: 地域補正後の経済効率性が分野別の基準未満で、熟度が高く、緊急性や戦略性が高い新規事業
優先度Ⅳ	: 優先度Ⅱ・Ⅲ以外の新規事業
優先度Ⅴ	: 中止する事業

# 様式①-1

事業地区・箇所別概要(1)

## 令和4年度 当初予算 公共事業評価システム 個別サマリーシート(新規事業)

### 1 事業の基本データ

①計画事業名	事業名	地区・箇所・路線名
	砂防事業(通常)	埋縄谷川
②事業担当課	担当課	担当班
	防災砂防課	砂防班
		電話番号
		059-224-2697
③事業施工場所	地域(市部・郡部/一般・過疎・準過疎)	市町字名
	四日市 郡部 一般	朝日町 柿
④事務事業名	通常砂防費	
⑤基本事業名	土砂災害対策の推進	
⑥公共事業評価システムにおける分野名	災害の防止	

### 2 事業計画の概要

事業の目的			
埋縄谷川は、三重県北部の朝日町に位置し、保全対象として人家1戸、朝日町の地域防災計画上の避難所である朝日中学校を含む土石流危険渓流である。流域内は、渓床勾配が急で崩壊地形が認められるとともに、渓床部には不安定土砂が堆積しており、今後の豪雨等により土石流が発生する危険性がある。このため、砂防堰堤を施工し土石流災害を未然に防止するものである。			
事業計画の概要			
堰堤工 1基		事業着工	2022年度
渓流保全 1式		事業完了	2025年度
		供用開始	2026年度
		B/C評価期間	50年
		全体計画事業費(億円)	1.200
		全体計画工期(年数)	5年

### 3 経済効率性評価(費用便益分析)

計算テーブル	便益分類			便益(億円)
テーブル1	自然防御機能維持	自然防御機能維持便益	水源の涵養便益 土砂流出等の災害防止便益	
テーブル2	土砂流出等の災害防止 洪水等の災害防止 高潮・波浪・浸食等の災害防止	災害防御機能拡充便益	人的被害軽減便益 資産被害軽減便益 営業停止損失軽減便益 応急対策経費節減便益	
	洪水等の災害防止	災害防御機能拡充便益	資産被害軽減便益 営業停止損失軽減便益	
	高潮・波浪・浸食等の災害防止	災害防御機能拡充便益	資産被害軽減便益 営業停止損失軽減便益	
テーブル3	アクセス環境の向上	アクセス機能向上便益	アクセス時間短縮便益 アクセス経費節減便益	
		交通事故減少便益	人的被害軽減便益 資産被害軽減便益 応急対策経費節減便益 事故渋滞便益	
		環境改善便益	大気質汚染抑制便益 騒音被害軽減便益	
		待避・避難機能向上便益	待避・避難時間削減便益 待避・避難経費削減便益	
		快適性向上便益	歩行者便益	
		交通遮断防止便益	アクセス時間増加抑制便益 アクセス経費増加抑制便益	
テーブル4	生活環境の向上	水質汚染抑制便益	水質汚染抑制便益	
		家畜排泄物処理便益	家畜排泄物処理便益	
		大気質浄化・騒音遮断等便益	大気質浄化便益 騒音遮断・飛砂等軽減便益	
テーブル5	レク機能等の提供	余暇空間創出便益	余暇空間創出便益	
テーブル6	生産性の向上	生産効率向上便益	労働時間短縮便益 生産経費節減便益	
		生産基盤拡充便益	単位生産量増便益 生産規模・機会増便益 耕作維持・利水便益	
テーブル7	その他	土地創出便益	土地創出便益	
		更新便益	更新便益	
		廃用損失	廃用損失	
粗便益①(現在価値合計) : B' (億円)				8.44
テーブル8	環境評価	自然環境	WTP×受益世帯数	
		景観	WTP×受益世帯数	
		文化	WTP×受益世帯数	
		快適性	WTP×受益世帯数	
		安全・安心	WTP×受益世帯数	
粗便益②(現在価値合計) : E (億円)				0.00
粗便益③(現在価値合計) : <B' + E> (億円)				8.44
地域	四日市	に対応した地域係数		1.1
便益(現在価値合計) : B (億円) ((B' + E) × 地域係数)				9.29
費用(現在価値合計) : C (億円) (費用計算テーブルより)				1.09
費用便益比 : B/C				8.53

※費用便益分析に関する特記事項

このシートの費用便益値は、三重県方式により算出したものであり、国の定めた算出手法とは異なります。

# 様式①-2

事業地区・箇所別概要 (2)

令和4年度 当初予算 公共事業評価システム 個別サマリーシート(新規事業)

## 1 事業の基本データ

①計画事業名	事業名	地区・箇所・路線名	
	砂防事業(通常)	埋縄谷川	
②事業担当課	担当課	担当班	電話番号
	防災砂防課	砂防班	059-224-2697
③事業施工場所	地域(市部・郡部/一般・過疎・準過疎)		市町字名
	四日市	郡部 一般	朝日町 柿

## 2 政策的重要度評価(個別評価)

### (a) 戦略性

【全分野共通要件】

1	みえ県民カビジョンの選択・集中プログラムに位置づけられている事業
2	
3	

(具体的な内容の記述<上記の補足事項>)

土砂災害対策の推進

### (b) 緊急性

【当該事業分野の事項】

I	
II	
III	
IV	

(具体的な内容の記述<上記の補足事項>)

### (c) 熟度

【全分野共通要件】

1	
2	
3	協力体制があり、整備に対して熱心な要望がある事業

(具体的な内容の記述<上記の補足事項>)

地域からの要望があり、協力体制が整っている。

## 【評価結果(優先度判定の結果)】

III

※優先度区分について

優先度 I	: 事業進捗を図り、早期事業効果の発現に努める継続事業
優先度 II	: 地域補正後の経済効率性が分野別の基準以上で、熟度が高い新規事業
優先度 III	: 地域補正後の経済効率性が分野別の基準未満で、熟度が高く、緊急性や戦略性が高い新規事業
優先度 IV	: 優先度 II・III 以外の新規事業
優先度 V	: 中止する事業



# 様式③-1

事業地区・箇所別概要（1）

令和4年度 当初予算 公共事業評価システム 個別サマリーシート（継続事業）

## 1 事業の基本データ

①計画事業名	事業名 海岸高潮対策事業	地区・箇所・路線名 川越地区海岸
②事業担当課	担当課 港湾・海岸課	担当班 海岸整備班
		電話番号 059-224-2690
③事業施工場所	地域(市部・郡部/一般・準過疎・過疎) 四日市	市町字名 川越町 亀崎新田
④事務事業名	海岸保全事業	
⑤基本事業名	海岸保全対策の推進	
⑥公共事業評価システムにおける分野名	災害の防止	

## 2 事業の概要

事業の目的 川越地区海岸は、背後にゼロメートル地帯が広がり、第一次緊急輸送道路である伊勢湾岸自動車道や国道23号、川越排水機場等が存在している。当海岸での耐震照査の結果、地震により地盤が液状化し、堤防が被災することが判明した。また、高潮対策に必要な堤防高を満たしていないことも判明した。そのため、既設堤防の耐震対策及び堤防の嵩上げを実施し、背後地の安全確保を図る。		
事業の概要		事業採択 2014年度
矢板工	260m	事業着工 2014年度
堤防嵩上工	450m	事業完了 2023年度
堤防補強工（表）	380m	供用開始 2024年度
堤防補強工（裏）	460m	全体計画事業費(億円) 16.660
		全体計画工期(年数) 10年

## 3 事業計画の進捗状況

実施済み事業の概要		事業進捗率の算定式 [進捗率=実施済み総事業費/計画事業費×100]
矢板工	260m	2020年度までの事業進捗率 51.2%
堤防嵩上工	450m	2021年度完了までの事業進捗率 54.6%
堤防補強工（表）	380m	実施済み総事業費(億円) 9.100
堤防補強工（裏）	360m	

## 4 公共事業の再評価実施の必要性

下記2基準に基づく今年度の再評価の必要性 (該当する項目の前に○印)	<input checked="" type="radio"/>	必要である
	<input type="radio"/>	必要でない
<b>1. 三重県公共事業再評価実施要綱による対象事業判定（該当する項目にチェックする）</b>		
<input type="checkbox"/>	①事業採択後5年間を経過した時点で未着工の事業	
<input type="checkbox"/>	②事業採択後一定期間（5～10年）を経過した時点で継続中の事業	
<input type="checkbox"/>	③再評価実施後一定期間が経過している事業	
<input type="checkbox"/>	④社会経済状況の急激な変化等により再評価を実施する必要性が生じた事業	
<b>2. 公共事業の見直し基準による対象事業判定（該当する項目にチェックする）</b>		
<input type="checkbox"/>	①社会経済情勢の変化により、住民ニーズ、事業の主目的が喪失したものと及び事業効果が著しく低下した事業 <input type="checkbox"/> 事業の主な目的を喪失した事業 <input type="checkbox"/> 需要量の大幅な減少や停滞、費用の大幅な増加等により、計画の必要性や効果について合理的な説明が困難となった事業	
<input type="checkbox"/>	②代替案検討の結果、代替案のほうが有利な事業 ・目的達成のため他の代替的手段の方が効率的・効果的な事業	
<input type="checkbox"/>	③事業採択から5年以上経過して、下記の理由等から事業進捗を図れない事業 <input type="checkbox"/> 用地買収に対する反対等により、事業進捗が3年以上停滞しており、今後解決が見込めない事業 <input type="checkbox"/> 主体となる関連他事業の事業計画の進捗が見込まれないため、当該事業の進捗が3年以上停滞している事業 (ただし、今後2年以内に関連他事業が伸展する場合はこの限りでないものとする)	

## 5 公共事業評価審査委員会の結果

再評価審査の結果 (該当する項目の前に○印)	<input checked="" type="radio"/>	継続
	<input type="radio"/>	中止
再評価審査の結果概要		

## 6 評価結果

評価実施年度	令和3年度	前回評価	
評価結果 (優先度判定の結果)	I	特記事項	

### ※優先度区分について

優先度 I	: 事業進捗を図り、早期事業効果の発現に努める継続事業
優先度 II	: 地域補正後の経済効率性が分野別の基準以上で、熟度が高い新規事業
優先度 III	: 地域補正後の経済効率性が分野別の基準未満で、熟度が高く、緊急性や戦略性が高い新規事業
優先度 IV	: 優先度 II・III 以外の新規事業
優先度 V	: 中止する事業

# 様式③-1

事業地区・箇所別概要（1）

令和4年度 当初予算 公共事業評価システム 個別サマリーシート（継続事業）

## 1 事業の基本データ

①計画事業名	事業名	地区・箇所・路線名	
	公園整備事業	北勢中央公園	
②事業担当課	担当課	担当班	電話番号
	都市政策課	街路・公園班	059-224-2706
③事業施工場所	地域（市部・郡部/一般・準過疎・過疎）		市町字名
	四日市	市部 一般	四日市市 西村町
④事務事業名	県営都市公園整備事業		
⑤基本事業名	快適なまちづくりの推進（公）		
⑥公共事業評価システムにおける分野名	公園整備等による生活環境の快適化		

## 2 事業の概要

事業の目的			
当公園は、計画地に残る自然を活かし、地域の歴史、文化、自然を紹介するとともに郷土の風景を後世に伝えることをテーマとし、良好な自然環境の保全を図ると同時に多様なレクリエーション活動、健康の増進、自然とのふれあいの場の提供を目的に施設の整備を行います。			
事業の概要		事業採択	1983年度
野球場	1面	用地買収	1式
テニスコート	12面	事業着工	1983年度
芝生広場	6.7ha	事業完了	2025年度
多目的広場	2.5ha	供用開始	2026年度
水のプラザ	0.9ha	全体計画事業費（億円）	173.881
		全体計画工期（年数）	43年

## 3 事業計画の進捗状況

実施済み事業の概要			事業進捗率の算定式 [進捗率=実施済み総事業費/計画事業費×100]	
野球場	1面	水のプラザ	0.9ha	2020年度までの事業進捗率 95.7%
テニスコート	12面	用地買収	1式	2021年度完了までの事業進捗率 96.7%
芝生広場	6.7ha			実施済み総事業費（億円） 168.159
多目的広場	2.5ha			

## 4 公共事業の再評価実施の必要性

下記2基準に基づく今年度の再評価の必要性 (該当する項目の前に○印)	<input checked="" type="radio"/>	必要である
	<input type="radio"/>	必要でない
<b>1. 三重県公共事業再評価実施要綱による対象事業判定（該当する項目にチェックする）</b>		
<input type="checkbox"/>	①事業採択後5年間を経過した時点で未着工の事業	
<input type="checkbox"/>	②事業採択後一定期間（5～10年）を経過した時点で継続中の事業	
<input type="checkbox"/>	③再評価実施後一定期間が経過している事業	
<input type="checkbox"/>	④社会経済状況の急激な変化等により再評価を実施する必要性が生じた事業	
<b>2. 公共事業の見直し基準による対象事業判定（該当する項目にチェックする）</b>		
<input type="checkbox"/>	①社会経済情勢の変化により、住民ニーズ、事業の主目的が喪失したものと及び事業効果が著しく低下した事業 <input type="checkbox"/> 事業の主目的を喪失した事業 <input type="checkbox"/> 需要量の大幅な減少や停滞、費用の大幅な増加等により、計画の必要性や効果について合理的な説明が困難となった事業	
<input type="checkbox"/>	②代替案検討の結果、代替案のほうが有利な事業 ・目的達成のため他の代替的手段の方が効率的・効果的な事業	
<input type="checkbox"/>	③事業採択から5年以上経過して、下記の理由等から事業進捗を図れない事業 <input type="checkbox"/> 用地買収に対する反対等により、事業進捗が3年以上停滞しており、今後解決が見込めない事業 <input type="checkbox"/> 主体となる関連他事業の事業計画の進捗が見込まれないため、当該事業の進捗が3年以上停滞している事業 (ただし、今後2年以内に関連他事業が伸展する場合はこの限りでないものとする)	

## 5 公共事業評価審査委員会の結果

再評価審査の結果 (該当する項目の前に○印)	<input checked="" type="radio"/>	継続
	<input type="radio"/>	中止
再評価審査の結果概要		

## 6 評価結果

評価実施年度	令和3年度	前回評価	
評価結果 (優先度判定の結果)	I	特記事項	

※優先度区分について

優先度Ⅰ	: 事業進捗を図り、早期事業効果の発現に努める継続事業
優先度Ⅱ	: 地域補正後の経済効率性が分野別の基準以上で、熟度が高い新規事業
優先度Ⅲ	: 地域補正後の経済効率性が分野別の基準未満で、熟度が高く、緊急性や戦略性が高い新規事業
優先度Ⅳ	: 優先度Ⅱ・Ⅲ以外の新規事業
優先度Ⅴ	: 中止する事業